

ボーイスカウトの最高位 富士スカウト4名誕生!

富士スカウト章は、ベンチャースカウト課程（高校生部門）で『社会の一員としての自律と責任、公共心を備えた、より良き公民となれるスカウトに授与される章』であり、日本のボーイスカウト最高位の章です。

昨年は愛知連盟で4名の富士スカウトが誕生し（全国では95名）、3月24日に大村秀章愛知県知事（愛知連盟名誉連盟長）へ受章報告に伺いました。受章者を代表して酒井健太郎くん（豊川第4団）から「後輩スカウトの手本となり、自らを成長させ続け、地域社会に貢献していきます」と決意の言葉があり、大村知事からは「将来の愛知・日本を支え、社会をリードする人材として、更なる飛躍を遂げられることを期待しています」と激励のお言葉をいただきました。

3月末には「日本連盟富士スカウト代表表敬」として、東京・赤坂東邸にて秋篠宮皇嗣殿下および悠仁親王に、首相官邸にて高市首相および松本文部科学大臣にもお会いする機会を得ました。

愛知連盟での富士スカウト章受章者数は597名となりました。秋のスカウト☆フェスタ（県内スカウトの集い）では、富士スカウト章受章までの活動報告や富士スカウト進級への個別相談も行われます。ぜひお越しください!



Be Prepared!! ～スカウトOBからのメッセージ～ Vol.32

愛知連盟は創立から77年を迎え、多くのボーイスカウト経験者が社会の第一線で活躍されています。今回は、愛知文教大学准教授（キャリア・広報センター長）の小川現樹さんをご紹介します。

愛知文教大学 准教授（キャリア・広報センター長） 小川 現樹 様

私がスカウト活動に深く関わっていたのは、小学4年生から大学4年生の短い期間である。しかしながら、人としての土台が形成される時期にスカウト活動に参画できた事こそ、私の宝である。

大学のキャリア科目内で「目的と目標」について触れている。ビジョンや目的が人を動かす原動力であり、目標はそこへの指針であると伝えている。私にとっての人生のビジョンは「自治の三訣」そのものであり、そのステップの一つとして富士スカウトになるという目標があった。昭和最後の富士スカウトになった後、大学生時代はスカウトムートやスカウトフォーラムの活動に費やした。今も交流の続くかけがえの無い仲間との協働や進歩制度への取り組みは、ビジョンの達成やその後の社会人生活に大きな影響を及ぼしている。

少子化が進む中、私の所属大学も募集停止の選択をした。この歳になって岐路に立たされているが、「自分のカヌーは自分で漕ぐ」こと、そして「そなえよつねに」を念頭にこれからも歩んできたい。皆さんの活動はきっと今後の人生の指針となることでしょう。弥栄

少子化が進む中、私の所属大学も募集停止の選択をした。この歳になって岐路に立たされているが、「自分のカヌーは自分で漕ぐ」こと、そして「そなえよつねに」を念頭にこれからも歩んでいきたい。皆さんの活動はきっと今後の人生の指針となることでしょう。弥栄



Aichi Scout Moot' 92 閉会式にて(右が小川さん)



愛知連盟富士スカウト顕彰 ～富士スカウトの誇りと抱負～



3月8日、豊橋市民センターにおいて愛知連盟富士スカウト顕彰が行われ、令和7年に富士スカウト章を受章した4名が参加しました。

この顕彰は、スカウトたちの努力と社会貢献を称えとともにさらなる成長を期待する重要な行事です。

式典では、富士スカウトにのみ授与される記念チーフリングが授与され、スカウトたちは富士スカウトとしての抱負を堂々と宣誓し、次世代のリーダーとしての自覚を新たにしました。

また今回ご来賓として愛知県議会議員、豊橋市議会議員の公職者の皆様方に昼食会を含め、ご臨席を賜り楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



スカウト顕彰は、スカウトたちがこれまでの努力を認められる場であると同時に、彼らが地域社会や次世代を担うリーダーとしての成長を促す重要な機会でありスカウトたちがこれからも地域社会で活躍していくことが期待されます。

令和7年度 富士スカウト章 進級者一覧 (進級順)

地区名	団名	氏名
名古屋北斗地区	名古屋第30団	中西 優 稀
穂の国地区	豊川第4団	酒井 健太郎

地区名	団名	氏名
三河葵地区	岡崎第2団	小林 幹 也
穂の国地区	新城第3団	梅田 禅之助

尾張の自然に挑んだ高校生たちの3日間

尾張東地区副コミッショナー 水谷 優介

3月20日～22日に「尾張富士・特別野営2026」を実施しました。この大会は、隼スカウト章の課目履修の一助となるよう企画し、尾張地域の3地区のベンチャースカウト部門(高校生年代)が中心となり運営しました。また、愛知ハイアドベンチャープログラムの地域移行の第1回として実施しました。

初日は春日井市都市緑化植物園をスタートし、東海自然歩道(弥勒山、入鹿池)を通り、犬山の羽黒にある春日井第5団の野営場まで移動し、1泊しました。2日目は野営場をスタートし、尾張富士(本宮山)を登り、善師野駅から日本ライン今渡駅間は電車で移動し、ラフティング(木曽川・可児～犬山:約11km)で犬山野外活動センターに到着しました。夜は2日間のトレイルの報告会を実施し、その後、RSによる食事の提供(RS屋台村)でスカウトをもてなしました。最終日は、野営場で野鳥の観察に取り組む鳥類保護章と、犬山城下の文化財を調査する文化財保護章に分かれて行動し、最終的には犬山城下を満喫し、ゴールの犬山駅へ到達しました(総移動距離33km)。

参加スカウトは24名で、そのうち完歩できたのは21名でした。ゴール地点では、スカウト達の達成感に満ち溢れた表情と、新たな仲間との交流を楽しんだ笑顔が溢れていました。トレイルは辛かったが、仲間と共に乗り越えられてよかったと多くのスカウトが話してくれました。



青年世代による隣国との交流 愛知—ソウルの深い絆

名古屋千種地区 名古屋第87団 菊池 洋一朗



5月8日～10日の3日間にわたり、韓国にて緑化派遣が実施されました。本派遣には、愛知連盟より7名のスカウトおよび指導者が参加しました。このプロジェクトでは、愛知県緑化推進委員会による「緑の羽根募金」の支援を受けて行われたものであり、募金によって集まった善意を、国際交流と緑化活動という形で現地へ届ける機会となりました。スカウトたちは、木を植えるだけでなく、その木が未来へと成長し、人と人とのつながりを育んでいくことへの思いを込めて活動に取り組みました。

当日は、地域の小学校を訪問し、施設見学を行った後、同校においてアジサイと松の木の植樹活動を実施いたしました。アジサイは1人1苗ずつ植え、植樹プログラムの最後に日韓両スカウトの協力により松の木を植樹し、小学校に緑と彩りを添えました。

また、市内観光に加え、日韓スカウトによる文化交流プログラムを行いました。食文化交流では、韓国側が伝統的な弁当を、日本側が台湾ラーメンと五平餅をそれぞれ調理し、食事を共にしました。さらに、日本側の企画として有松絞り体験を実施し、ビー玉とゴムを使ってトートバッグに模様を付ける活動を行い、完成した作品を韓国スカウトへプレゼントしました。

最終日にはナムサン(南山)タワーへのハイキングを実施し、日韓のスカウトが共に汗を流すことで、より深い交流を図ることができました。

今回の派遣は、緑化活動の実施にとどまらず、両国のスカウトが互いの文化を学び、相互理解を深める活動となりました。また、この交流を一度限りで終わらせるのではなく、今後の「どんぐり交流会」などへとつなげ、継続的な国際交流と環境活動の発展につなげていきたいと考えています。



交流×刺激から地域・社会貢献へ

実行委員長 春日井第2団 佐藤 良真



3月13～15日の2泊3日でローバースカウト(18歳以上)の野営大会である「愛知ローバームート2026」が新城吉川野営場にて開催されました。

「NEW ROVER」を大会テーマに、愛知・岐阜・三重・静岡の東海4県から77名のローバースカウトが集結し、既存の枠にとらわれないプログラムや野営生活を通して、参加者一人ひとりが自己成長を遂げ、地域貢献や社会貢献へ踏み出すきっかけを創ることを目的として展開されました。

本大会では5つの主要プログラムと2つの食事プログラムが展開され、奉仕プログラムは、地域貢献や社会貢献へ踏み出すきっかけとして吉川野営場に設置する看板作成に取り組みました。班ごとにアイデアを出し合い、吉川野営場に設置する案内看板の作成に挑戦しました。施設への愛着や身近な環境への貢献意識を育み、奉仕について考える時間となりました。

日中プログラムでは、本大会のメインとなるトーテムボールの制作を行いました。デザインから彫刻まで班で協力し合い、参加者全員の想いが込められた作品を完成させ、大きな達成感を共有しました。

討議プログラムでは、「社会に向けた奉仕」や「将来の理想像」をテーマに深く語り合いました。仲間の様々な考えに触れ、既存の価値観をアップデートする刺激的な対話の場となりました。

他にも様々な活動が行われた中で、参加者からは「同世代が真剣に社会課題や将来を語る姿に衝撃を受け、自分が活動続ける意味が言語化できモチベーションが上がった」「この大会で得た熱量を自分の団に持ち帰り、後輩へと繋げたい」などといった頼もしい決意も生まれ、大会で得た刺激が次々確実に繋がっていく様子も見ることができました。

実行委員長として、この大会で生まれた一人ひとりのNEW ACTIONが未来を動かす力に繋がると期待しています。



令和7年度 愛知連盟組織・拡充顕彰

ボーイスカウト運動の地域への浸透・組織の拡大に貢献した地区・団を「組織・拡充顕彰」として表彰しております。令和7年度の顕彰地区・団が、6月28日に行われた県連盟総会にて発表されました。詳しくは、愛知連盟Webサイトをご覧ください。

顕彰地区			顕彰団(増加団)		
名古屋西部地区	名古屋千種地区	知多西南地区	清須第1団	阿久比第1団	常滑第4団
豊田地区			豊橋第9団	豊田第16団	

ボーイスカウト振興愛知県議会議員懇談会総会



ボーイスカウト振興愛知県議会議員懇談会総会は、7月2日(火)、愛知県議会議事堂のラウンジで、超党派による会員61名により開催されました。

神野博史会長のあいさつに続き、永井 淳理事長から平素のご支援に対する御礼のあいさつの後、神戸洋美監事へ県連盟有功章が贈呈されました。

その後、杉江繁樹幹事長の司会で議事が進行し、本年のアジア大会・アジアパラ大会でのボーイスカウトの活躍を支援することなどが確認されました。

私たちは、ボーイスカウト運動を応援しています!

岡谷鋼機株式会社

東邦ガス株式会社

株式会社大丸松坂屋百貨店

株式会社センゾー

名古屋鉄道株式会社

サールエナジー株式会社

株式会社渡辺機械製作所

明治電機工業株式会社

大切な「水」をあなたへ
川本ポンプ

名古屋トヨペット

武蔵精密工業株式会社

名鉄観光バス

新明工業株式会社

株式会社高津製作所

株式会社アステックプラザ

名鉄局印刷株式会社

YUTAKA 豊電子工業

伊勢湾海運株式会社

トーテックアメニティ株式会社

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

RICOH リコージャパン株式会社

ANA 全日本空輸株式会社

熱田神宮

興和株式会社

sinto 新東工業株式会社

MIZUHO 株式会社みずほ銀行

福玉精穀倉庫株式会社

CHITA 株式会社チタ製作所

株式会社東郷製作所

TOENEC 株式会社トーエネック

TOKURU 徳倉建設株式会社

総合建設業 株式会社ニシ

CKD CKD株式会社

株式会社大林組

名古屋東部陸運株式会社

愛知時計電機株式会社

株式会社クロス技研

株式会社伊藤工務店

CVTEC 株式会社シーヴィテック

FUJI 株式会社フジキカイ

TOKAI RIKI ADVANCED CO.,LTD. 株式会社東海理化アドバンスト

EH エルクヒシキ株式会社

株式会社豊田自動織機

株式会社梶屋

TOYODA GOSEI

WEX 新日本ウエックス株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

大森石臼株式会社

izmic 株式会社イズミック

豊島株式会社

小林クリエイト株式会社

KIRIX キリックスグループ

根木クリニック

三栄工業株式会社

MUFG 三菱UFJ銀行

明治安田生命

ナゴヤ SHIPPING 株式会社

東海東京証券

東郷産業株式会社

MIYAZAKI 宮崎精鋼株式会社

一般社団法人 日本電気協会 中部支部

株式会社竹中土木

竹中土木

(敬称略) 特別維持会員の方々です。